

2024年度 活動実績

新潟県作業療法士会では、認知症の方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、認知症に関する様々な活動に力を入れている。この活動は、地域包括ケアシステム推進委員会が主軸となり、地域での作業療法士の役割を広げることを目指している。

研修事業

【目的】 地域在住の認知症者の生活支援の基礎知識と実践力を身につける。

1. 第一回認知症研修会

日時：2024年10月20日 10時～15時30分

参加者：28名

内容：認知症者の生活支援についての講義と演習（講師：山口智晴 氏）

2. 第二回認知症研修会

日時：2024年2月8日 9時30分～13時

参加者：12名

内容：家族会と行政担当者を招き、Webで開催。行政が求める作業療法士像や、当事者・家族が直面する課題について直接話を聞くことで、貴重な知見を得た。

3. 認知症ケア学会 北陸・甲信越ブロック大会への参加

日時：2024年9月28日

参加者：2名（うち一人はシンポジストとして発表）

家族会支援事業

【目的】 認知症の人と家族の会へ作業療法士を派遣し、専門性を活かした支援を行う。

1. 家族会への講師派遣（2か所に計7回）

内容：当事者やご家族の悩みを伺い、医学的根拠に基づいた生活の工夫について具体的なアドバイスを行った。

連携：家族会に参加する他職種（看護師）とも連携が深まっている。また、家族会に参加したことがきっかけとなり、認知症カフェでの講演依頼があり、市町村担当者とも連携し会員の派遣体制を構築している。



家族会参加の様子

広報活動

会員向けの認知症の理解促進と作業療法士の関わりを普及するため「オレンジ通信」を発行し、県士会ホームページでの公開している。



2024年オレンジ通信

2025年度 活動計画

1. 認知症に関する研修会（年2回実施予定）

内容：オンデマンド動画での学習と、家族会への同行実地体験を組み合わせた研修会。

目的：座学で得た知識を実際の声聞くことでより深く理解し、地域での作業療法に関わるきっかけ作りを目的としている。

2. PT・OT・ST合同学術大会

セミナー：当事者・家族、家族会、行政と協力し、「地域で暮らす認知症の方の生活支援」をテーマにパネルディスカッションを企画している。

3. 広報活動

内容：オレンジ通信の発行。家族会への支援状況を報告する予定である。

これにより、会員が地域活動へ参加するきっかけを提供することを目指している。